



CLUB

コトブキ

トア・ロードのセンター街のもう一つ南の通りを南に入った浜側にクラブ・コトブキがある。

主人の平野紀子さんは、明るい神戸っ子で、最初から英国スタイルの店を建てたいと願っていたということである。勿論英國風で建てられた店というのは神戸には少ないので一つの持味になつていてお店の中もゆったりとした構えでなるほど、調度も純歐風である。つまり木の腰掛けも見事だし、カウンターも、ころあいである。

飲物は洋酒がよく、注文すれば日本酒も用意しているということだからどんな手合といつても慌てることはない。

客筋も神戸の一流どころは殆ど馴染らしい、とにかく人気がある。かなり勘定のはつきりしている、文化人の間でも評判がよくて、果の一つであることはこの店の行き方がうかがわれる。

平野さんはマダム然とした貴様こそないが、和服のよく似合う暖かい感じの美人で、愛嬌と、素直な可憐さがいい。

自分で築いて磨き上げて行こうと云う意慾がこの店全体を一層まとまりのよいものにしていて、ホステスたちも感じがいい。

神戸を訪ねて来た客を安心して案内できる店として獎めていいだろ。

(K)

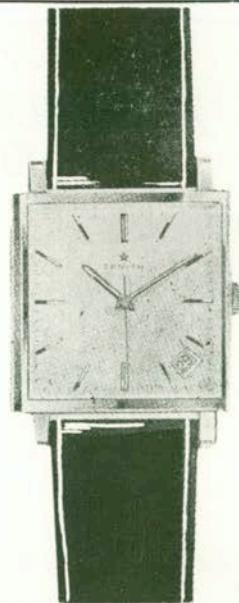


きものさろん 西店  
服飾細貨 東店  
きものと細貨 新橋店  
東京 神戸



ちんざら庵

神戸・西店 TEL (3) 8836  
東京・新橋店 (571) 0807  
TEL (3) 0629



ZENITH  
世界最高級腕時計

ゼニット

もっとも豪華な  
もっとも気品のある  
もっとも正確な

ZENITH 美田  
特約代理店  
MOTOMACHI-3  
TEL (3) 1798

'62

All New Far Full Fashion  
\*毛皮展示会



とき / 10月 18. 19. 20日・10時～6時  
ところ / 農業会館 5階大ホール  
（国鉄・阪急三宮西1丁生田筋上る生田神社西山側）  
入場は自由でございます。

毛皮の店

ウエダ

元町2丁目 ③0686



マルゼン

神戸市生田区三宮町1丁目(生田筋)  
TEL: ③ 0212・5454

世界の舞台に夢をかける

# アイ・ジョージ

アイ・ジョージ（歌手）

鴨居羊子（下着デザイナー）



この対談は、神戸労音からの贈り物でもある。9月18日から三日間神戸労音に招かれて歌った、アイ・ジョージは司会に鴨居羊子を選んで全く型破りのリサイタルを構成ファンの期待に応えて、こくのある舞台をくりびらげた。

アイ・ジョージは「最高に恵まれたスタッフの善意が今日の舞台になつたのだ……」というのだが——鴨居羊子は独創性を生かして下着ファッションを呼びかけたデザイナー、大阪で新阪急ビルに鴨居羊子の店を開いている。もちろん、関西のれんである、根性のある女性——苦労人だけにアイ・ジョージとはうまがある。

構えないで歌うジョージ

鴨居「ジョージさん神戸はよく来ていて馴染深いんでしょう」



ジヨージ 「馴染深いという程のことはないけど、僕がアイ・ジョイになつてから、ジャズ喫茶によくきたね」

鴨居 「ほう、そんなもの、いつ頃のこと」

ジヨージ 「三年程前かな、それより前には、来たことあるんだが」

そのとき、ちょっと、もめた

ここはアカンということになつた

んや」

鴨居 「買いたい物なんかに出掛る時間があつた」

ジヨージ 「あまりないナ、それでも昨日はちよつとあちらこちら廻りましたよ」

鴨居 「今日は舞台で疲れましたね、ジョージさんはさつきも云つてらしたけどエライねえ、舞台に

出る前だといつて、何んとこないといつてたけど、ごく、普通な

気持で舞台で歌うというのね、そ

の考え方もいいと思うけれどね」

ジヨージ 「いや、そんなことないです。そら、鴨居さんが善意で云うて呉れるからや、と思う、僕

そら、一番アカンと思うねん、ええときはええねんけど、アカンときはやつぱり、アカン」

鴨居 「ジョージさんとの根性いうかな、根強さというのを感じるんだけどね」

ジヨージ 「でも、自分のあり方としてね、あの時もいましたが

あまり気をつかわんようにしてい

るという意味なんで、寝起で歌うたらアカンとか、喉はウガイをして大切にせなイカンとか云うこと

は判つてゐるんやけど、あまり神経質に考えない、構えないでね普通でありたい、普通で楽しい歌をうたうんだと云うことなんですね」

鴨居 「構えないという話は、面白いね、私も芸能人でなくしてよかつたと思います。私にとっては、

舞台は生れて始めてでしよう」

ジョージさんが好きだからやつて見

ようと思つて司会してみたんだけ

ど、とてもこんな死にそななんわ

やれませんわ」

(ジョージ) 神妙にただ、どうも

鴨居 「だから、構えないで何事も出来るというような鍛練は立派ですね、舞台でも態度など、ぜんぜん喰われますね」

ジョージ 「そんなんあまり判らんけど、僕こう思ふんやけど、人間つてね感情の動物だと云うけど

実際つてあまりないと思うんです

それに、大舞台に立つて見てやはり、いい歌をうたうという事それ

が綻んで、スウーとした気持

しやる方で受けた感情が生れるよ

うに思うんだけど……」

鴨居 「ジョージさんの舞台構成での考え方なんかは」

ジョージ 「いろいろ計算してはやつてゐるんですけどね、舞台を次第に盛り上げていつて最後に大ヒット曲を歌うというのがいままでやり方なんですが、私はそ

うやつて、シヨーとして固

まつたなかで流れを作るそして最

後はやはり、すとんと落すという

考え方で、スウーと自然に満腹に

なるよう思つてゐるんです。そ

の点周りの人達がいいですか、僕はラッキーですよ。日本ではあ

り得ないようなことが、ほんの一

部でも実現されるということは嬉しいことですよ。だから、僕は

カネギー・ホールで日本の素晴

い歌をうたつて見たいというよ

## 表紙のことば

### 帆船のメモ

平良磯小

私が青年の頃、ある日、柳井

夫が荷を担いだ駄菓子屋を連れて

やつて来た。この駄菓子屋は船乗

りだつた。その頃の船はほとんど

帆船であつた。あの細いしなやか

なスタイルの帆船で遠洋を航海し

ていた。こんな瀟洒な船が青海原

を帆を張つて進むのかと若い私達

を夢中にさせた。

傭われ水夫たつた彼は雄弁に海を語つた一シスコでの刃物三昧に及

んだ水夫達の血斗、荒海に冰山に激突して大破して難船した話な

ど帆船の一本、一本の柱、綱を英語で喋る彼に魅せられ、私たちはそ

のスベルを夢中で憶えた。帆船にはそんな追憶がある。この絵は、

子供のオモチャのプラ・モデルな

んだが、そのモデルの解説が英語で書かれていたので無性に懐かしくなつてメモのつもりで書いた。

欧洲に行くと立派な帆船のモデル

が居間に置かれている。ロンドン

で一軒だけそんな置物を売つてい

る店があると聞いたので渡英した

時、捜したがわからないまま帰つて来た。



な夢も持てるんですね、周りの人が本当に善意と好意の上にキチッとやってくれるんですね。僕はラッキーだなあと思うし、こんなええことあるなんかなあと思う。だからそこに慾が出る。もう一つ次に行こうと思ってギヤア・ギヤアー云うんですよ。しかし、これが前向きの姿勢なんだと思いますね、だから、舞台に出る前に喧嘩

はどんなタレントでも皆同じだと思ふんです。それをどう出すかと云うことです、パッと、直接的に衝動を持って行くと、皆んなのエネルギーを感じる訳ね。ベラフォンテだつてそうでしよう。

ほんとにそこにあるものとして、バアーン」と持ち込むでしよう。あの間は演技ですねそれと、感情の盛り込みですね。だから素晴らしいんでねびっくりするんですよ。

アイ・ジョージのユーモア

鶴居美子とアイ・ジョニシ

して、舞台が終つたら、また喧嘩なんですよ、僕はそれがいいと思ふんだーああ、あれもよかつた、これもよかつたーじゃあ、いい仕事は出来ないだろうなツマランですよ」

鴨居「あなたの舞台では、はか本人のエネルギーが感じられないエネルギッシュな感じが出ていますよ」

問題を変えてこられるので新鮮でいいと思います。次は何を言うて来るかなあという気持ですよ」  
鴨居「うかなかー私はいつも答が新鮮でいいな、うまいなあと感心しているんですよ、ああいう内容とか言葉のゴヤブラリーの豊富さというのは、持つて生れたものなんでしょうね。」  
ジョージ「僕は何にも知らんよ」

ところで江戸時代に吉原の遊女のことを「よね」といふのです。『俚典集覽』という本に「よね」は「夜寝」と書いて「ヨネは米」。あるいは「夜寝宿（よね）」の意なり」とあります。おもしろいものはその語源で、これにも「いろは」が引っぱり出されています。つまり「よたれそつね」の初の「よ」と「よたれそつね」の「ね」を結びつけて「よたれそつね」の「ね」をはさんでいるといふわけです。シジとはなんぞや。一度辞書で脇（しじ）という漢字を引いてみてください。彼女がいふたい何をはさんでいるか、おなごみ。

なにも、恐妻家<sup>おそれいじや</sup>は現代だけの話ではないようです。昔から奥さなのことを『山の神』と呼んで、恐れやうやめでいたことを考へれば、現代などより、もつと『これい』は、存在だったのかもわからませない。上州名物はからつ風とカカア天下<sup>あまご</sup>といいますから、『風の神』と対等の『神格<sup>しんかつ</sup>』をもつていたものと見えます。

ところが、『山の神』といふことばの起りは、『神<sup>かみ</sup>』ではなく『上<sup>うへ</sup>』だといふものあります。なぜだと聞きますと、『いろは』にはほととをいふて、ごらんときた。……

ならむういのおく、やまけふこえで……それ『おく』(奥)は、『ま』の上にあるではないか。なるほどね。



756 *Y. -H. Lin*

「私が書いたなかでも一番うまい、例えば『コレラが台湾から来たのはどう云う経路で来るか』といったら『バナナに乗って来る』と答えるんですよ、『もう一度生れて来たら何になる』ときけば『そんなことはあり得ない』『若しあつたら』『やはり、歌手になる、同じことを二度やればよりよいだらう』と、面白い答が出来るんです、そんな答えの端はしにね、ジョージさんの人生哲学がある訳で、しんみりとしたステキなニュアンスがあるです」

ジョージ 「ああ、皆さんこんなに善意があるんですね、だからジョージは生きて行けるんだ」

鴨居 「そうじやアないんです、これが他の芸能人だったら、何か計算したユーモアな答を考える。ジョージはそうでない、自然にユーモアが生れる、そういう意味では、ほんとうの演技者だと思う、生活そのものが演技であるとすれば最高の演技者である訳ですよ」

ジョージ 「それは鴨居さんが手に引出さんですよ、だいたいね質問して行く、ところが質問がいくつあると、時どき、ゾートとすることがあるんだ、訳の判らんことを質問して来るでしよう、僕はなにも用意しないで答えて行く、ところが質問が7問ぐらいになって来ると、『あつて、訳を言よるんやろ』『ほんまに人をばらばらにしよる』とジョージとするとんんですね、関係ない事で僕は釣られてあはかれているんですよ」

鴨居 「無意味な質問をした方が味のある答が出るんですわー『うどんを食べるとき油揚げを一口に食べるか、何度も食べるか、何度も食べるか』

## エネルギー・ッシュに歌いまくるジョージ

「食いちぎり、食いちぎり何回もたべる」「何故そうするか」「一口に食べたら後がさびしい」あたりまえのことだが、そこが面白いんですね。——ジョージさんの映画『太陽の子』はどうでしたか？  
ジョージ「あれは私の半生記ですね。えらいヒットしましたわ」  
鴨居「女性自身に『パン屋の職長さん』の話が出てたけどあれよかつたね、後の話がききたいわ、どんな感じやつた」  
ジョージ「パン屋の職長さんねあれにぶんなくられたことあるん

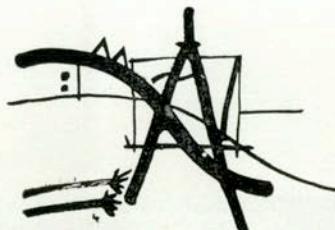
## ひんくこーなー



治時代も英語は大流行がありますが、今はもうそんなことがありません。それで、今日はちょっと次のようないいな会話を聞いてください。

「この袖は何のリーフィン（関係）を持つておるのでですか。何のためにこのような丈にも余るものにを釣るにしておるのですか。かようデベロップ（発達）して行くジャパンニーススタイルとして、まだ十七八世紀ごろの陳腐なドレッス（服装）をばいつまで甘んじて着ていることを、ノンセンス、ノンセンス」といふことは女学生の会話「ヘンル（落第）」によ、「フルマーレ（満点）」だわ」「あなたのいいレタン（帰省）」なさるの。一日遊びましてよ」「あなたもアボイ（避暑）してよ」「まだ行李私忙（こうりう）しうぼう）ねえ。じゃ待つらつしゃるの、ベトサン（姉約者）が?」「あなたもアボイ（避暑）ね、どこ? 箱根?」「サイコロジー（心理学）の点も怪しいんですね。噴火口へ投身でもするわ」これは山岸荷葉と小杉天明の話ですが、文の明開化から引くと、以下は英語入りのものが結構えましたが、心醉の世相が目に見えるようす。明治末に「倒れし戦友抱き起し耳に口當る」が、これは「いふやう口パ節」がその替りえましたが、心醉の世相が目に見えるようす。

額縁絵画・洋画材料  
室内工芸品



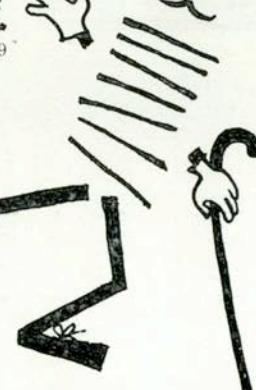
末積製額

三宮・大丸北  
トア・ロード  
③1309・6234

男子洋品の店

神戸屋

元町2・TEL ③2589



秋のお買物は  
ハイ・センスの神戸で  
楽しいいくらしは  
神戸の  
トップ・ショップから







ハイセンスの紳士服で  
最高のオシャレを

三恵洋服店

元町4丁目

TEL ④ 7290

YE AULD SHIRT SHOPPE



よろず御襯衣仕立處

神戸シャツ

神戸大丸前 TEL ③2168

秋



東京洋品の店

千秋堂

元町 4 丁目 ④ 6959

クラシック調の  
スポーツウェア  
ニットウェア



みんなに贈って喜ばれる  
風味豊かなカステーラ。!

<元町 6 丁目>

長崎堂本店

本店 7-4402 元町 4-4130

神戸新聞会館秀品店・阪急



センスあふれる  
べつ甲の専門店  
元町一丁目

太田鼈甲店  
TEL ③ 6195

KOBE

**SUGIYA**

ハンカチと下着の店  
トア・ロード TEL ③3436



ロマンスの秋に  
スギヤの  
プレゼント…

新しいセンス、フランス調の  
ヘヤースタイル

美容室

あきら

西野 明

御電話の御予約いたしております

三宮本通り TEL ③4461・6458



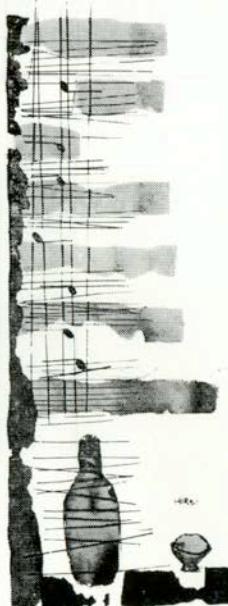
高級紳士服専門店

**神戸テーラー**

オーダーメード・イージー  
オーダー・レディメード  
生田区北長狭通2  
(省線高架通50)③2817

# ざんげ話

陳舜本 宏臣



今晚も、ぼくは山長さんの店でお酒をのんだ。あそこでは、あまりたくさんのはまないつもりでいる。しかし山長さんは承知しない。やいのやいのとすすめられると、のまないと悪いような気がして、ついのみすゞす。お酒をすこすなんて、ほんとうにいけないことだ。

なぜ、ぼくが山長さんの店で、たた酒をのむかという話を、ここに書いてみたい。それは、とりもなおさず、ぼくはなんべん金を払おうとしたかわからない。が、山長さんはガンとしてうけつけないので。金を受取らないと、もう来ないぞ、と言つたことがある。すると山長さんは、「あんたは、そない不人情なんか?」とつめよつた。なんとも致し方がない。

ゲンさんはとっくに東京へ転勤になつた。だから彼はもう山長さんの店でたた酒をのまなくてすむ。いまは、ぼく一人だけが、この辛い任務を受持つてゐるわけだ。四年まえ、ゲンさんがまだ神戸にいたころ、ぼくはとコンビで、よくのんだものである。山長さんの店でのものは、ツケであった。ご多分にもれず、のむときはいいが、払いが大へんだった。ある時期、だいぶ溜つて、進退きわまつてしまつた。もちろん、踏み倒そうなんて、さもしい根性はなかつた。ただ当座の支払能力が不足して、ボーナスまでのばしてやろうとしたのだ。それにしても、ボーナスはだいぶさきなので、それまでのあいだいい顔をされないかもしねない。お酒をのむときは、誰しも気持よくのみたいものである。

元町のとある喫茶店で、ぼくはゲンさんと密議をこらした。

「なんとかなれへんやろか！ 当座のきでええんやけど」 これが、ぼくらの解決せんとする課題だった。あらゆる作戦は、孫子の教えをまつまでもなく、敵を知るこ

とが肝心である。ぼくらは山長さんを研究した。

山長さんは古文書蒐集という、きわめて品のよい趣味をもっている。さっぱりした気性の、じつにいいおやじであるが、こと古文書にかんすると、目の色がかわって思わぬ偏執ぶりを發揮したものだ。

金を払わずに、しかもいい顔でのむには、なにか抵当を入れなければならない。たとえば、ぼくらは腕時計をもつていた。しかし、山長さんはそんな物は受取らないだろう。

「そんなこと、やめといてもらいまっさ」

「やっぱり古文書がええな」

とぼくは言った。古文書を抵当にするのが一ぱんいいことはわかっている。ところが、ゲンさんもぼくも、古文書などには縁がないのだ。

「偽造しようか……」

と、ゲンさんは思いつめたように、言った。しかし、ぼくらのような素人に、古文書の偽造はできっこない。

たとえ偽造しても、相手は本格的なマニアだから、すぐ見破ってしまうにきまっている。でなくとも、偽造という言葉は、犯罪臭がして、いやなものだ。

「偽造はあかん！」 ぼくは断乎として、言った。

「刑法に触れるがな」 「そこは、うまいことやつたらええ」 ゲンさんは自信ありげに答えた。 「ぼくらはなに

も、正式にそれを抵当にするんやない。ただよつと預かってくれ、と言うだけや。ボーナスが出たら、支払いをすませて、それをとり戻す。……なんにもわるいことあらへん。要するに、急場しのぎや」

「そやけど、古文書はあかんで。おっさん、よう知つ

とるから」

ぼくらは、さらに密議をこらした。追いつめられるといい知恵がうかぶるものだ。

「おっさんにわからんもんがある」

ゲンさんは、ハッタと膝をたたいて、そう言った。山長さんにわからない古文書とは、何か？ ゲンさんの説明によれば、それは楽譜であった。おっさんは、オタマジヤクシが読めないのだ。ゲンさんの亡くなつた叔父が作曲家で、五線譜になにやら書いたものが、家にいっぱいあるという。

翌日、山長さんの店で酒をのみながら、ぼくらはつぎのよな会話をかわした。

「おれ、アパートに移ろうと思とるんやけど、荷物を整理せんならん」

「そやけど、ゲンさん、アパートは空巣に弱いで。あれもって行かれたら、どないすんねん？」

「そやな……どないしょ？ あれは古文書の一種やけどこのあいだ八十万の値をつけたやつがおった。叔父の形見やさかい、おれ、なんぼ八十万でも手離す氣イないんや」

古文書という言葉をきくと、山長さんの目がキラと光った。そして、言った。

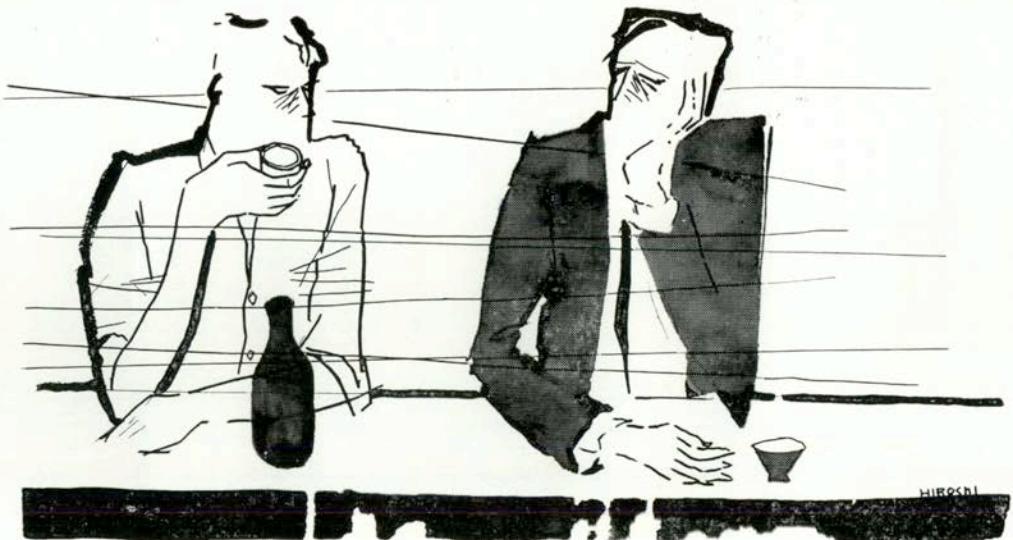
「古文書ちゅうと、どんなもんや？」

「おっさんの集めるようなやつとはちがうんや」とゲンさんは言った。 「字とちごうで、楽譜や、ベートベングの『運命』の下書きで、もちろん、ベートベンの肉筆や」

「ほほう……」

それから、ぼくとゲンさんは、ベートベン楽譜をやらかし、『運命交響曲』について論じ、その草稿楽譜のはかり知れない価値に言及した。最後に、ゲンさんは、その楽譜が新しいアパートの部屋に、適当な置場所のない悩みを、ため息とともに洩らした。

「なんやつたら、わたいのとこに預かつたろか？」と



山長さんは言った。「古文書を入れるスチールのケースがあるさかい」

これは待ちに待った発言である。すぐとびついてはいけない。ゲンさんは、適当に迷つたり、渡つてみせたりしたのち、

「そやな、よう考えたら、万一のことがあった時……」ベートーベンのインチキ楽譜は、こうして、山長さんの家におさまた。八十万の値がついた代物である。嚴密な意味の抵当ではないが、それは勘定をボーナスまでのばしても、ぼくらが気がねせずにのめる、初期の目的をはたしてくれるのである。

山長さんの家は、店から二丁ばかり離れたところにある。彼は結婚後十年目で、はじめて子供が生まれた。このごろでは、古文書のほかに、ベビー自慢が加わった。あの晩も、はじめは古文書自慢からはしまった。なんでも、京都の大学のえらい先生が、山長さんの古文書を見せてほしいと、依頼があつたそうだ。

「うちにあるやつ、今朝みんな京都へもつて行つたんや。なあに、わたいが目を通してあるんやから、にせ物なんかおますかいな」

ぼくもゲンサンも、ひやりとした。

「あのベートーベンも持つて行つたんかいな?」とゲンさんはたずねた。

「いや、あれだけは残しときましたわいな。専門がちがうんやから」山長さんは答えた。

ぼくらは、ホッとした。

「いよどそこへ、山長さんのヨメさんが赤ん坊をかかえてはいつてきた。

「これから、お風呂へ行つてきますねん」

と山長夫人は言った。店は家から風呂屋への途中にありので、子煩惱の山長さんに、赤ん坊を見せにきたらしい。山長さんはヨメさんの胸に抱かれている赤ん坊を見

て。

「なんや、寝とるやないか」

「ええ、よう寝るわ、この子」

「風邪ひけへんか？寝てる子、夜なかに連れ出したりなんかして……」

「お風呂屋さんへ行くくらいやないの。大丈夫でっしゃる……」

山長夫人は答えたが、そう言わると、やっぱり不安そうな面もちになっていた。

山長夫人が店から出て行ったあと、ぼくらは、まだしばらくのんた。帰ろうとした頃、急にあたりがさわがしくなった。と、一人の男が店へとび込んで、大声で叫いた。

「山長はん！あんたとこの隣りが火事やで！あつというまに、ものすごい火や。ベニヤ板やから、あんたとこもあかんで！」

山長さんは、「おうう！」と叫えるような声をあげて店をとび出した。ぼくらもそのあとにつづいた。

やつと消防車のサイレンがきこえはじめた。

ひた走りに走って、現場に着いてみると、火はすでに山長さんの家に燃え移っていた。火のまわりが早く、かけつけた消防車はポンプの準備にとりかかってばかりである。

山長さんは体をぶつけた表戸を破った。

「危い！やめとき！」と、ぼくもゲンさんもどなつた。「小母はんと赤ちゃん風呂へ行つてゐるから、大丈夫や。

吉文書かて、京都へ行つてゐるやないか」

「ベートーベンや！」

と、一と声残して、山長さんのすがたは、燃えさかる家のなかに消えた。

「えらいこつちや！」

ベートーベンだって？ぼくとゲンさんは、世にも哀れな顔を見合わせた。

「ほんやりせんと、早よ山長さんをひきすり出さんとあかん」

「あかん」

そうだ。ぼくらのインチキ・ベートーベンのおかげで

山長さんが焼け死にでもしたら、ぼくらは切腹してお詫びしなければならない。

「よし！」と叫んで、ぼくは敢然と突入の態勢をとつた。と、そのとき、山長さんが猛火をくぐつて、かけ出してきた。

……山長さんは赤ん坊を抱えていた。

「おい、邪魔になる、そこ退（ど）け！」

消防員がどなつたので、ぼくらはあとへさがつた。

「ゲンさん、かんにんして、ベートーベンはあかん、赤ん坊が居よつたんや。……この火やつたら、スチールのケースもあかんわ」

山長さんはボロボロと涙をながして言つた。

こんな時、あれはインチキでしたと言えるだらうか？猛火を背景にしたこの壯絶な雰囲気のなかで、そんなふざけたことが口に出せようか？ぼくらは口を噤んだ。

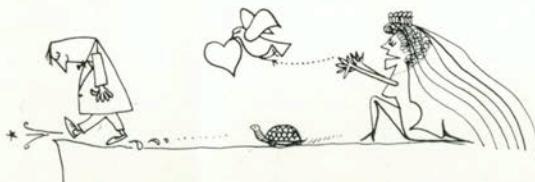
山長夫人は赤ん坊を連れて風呂へ行くつもりだったが風邪をひくかも知れないと主人に言われたので、思い直して、赤ん坊を家に残して行つたのだ。山長さんはベートーベンを取りに行かなければ、赤ん坊の命はなかつたわけである。つまり、ぼくらがインチキをしなければ：八十万はする楽譜を焼いたので、山長さんはその分をぼくらにただでのませるつもりらしい。

あれから四年たつて、山長さんの赤ん坊は、もう幼稚園へ通つている。

三日に一度、三百円平均でのんだとして、年に三万円最初の一年はゲンさんがまだ神戸にいたから二人前である。この四年間合計十五万円ほどのんだことになる。あと六十五万円のまねばならない。それには、二十年以上かかる。……あのときの赤ん坊が、嫁さんをもらうちろう。だらう。

（この項おわり）

## 編集後記



☆秋といえばお祭りです。港、神戸では、自慢の「みなと祭」が行なわれます。最近「神戸のみなと祭」をもつと楽しいものにしよう」という意見が多いようです。市民の祭典がどんなものになるか楽しみです。☆外国のキャラテン・マネージャーなどの港の注文や、神戸の印影などをまとめて見ました。

☆今月の表紙は小磯良平氏です。当分の間、「神戸っ子色」をだそうというので小磯先生に表紙をお願いいたしました。愛読者の皆さんも是非ご声援ください。

☆新らしい企画で女流作家、第一人者、岡部伊都子氏にご登場いたしました。「神戸には素適なお嬢さんが沢山いらっしゃるのでござんの様な機会に是非ご紹介したい」

## 花時計

### 複製礼賛

松井高男



ことしの初めに開かれたフランス美術展では、壁面を飾っている絵の複製を同時に売っていたが、これが飛ぶように売れていた。なかなかモジリアニのものがよく売れて、何度も増刷したという。なぜモジリアニが売れたかは別として、この学生たちで混雑する売り場の風景は、私にとてたいへん感動的なものであった。なかには「なんだ複製なんか」とひそかに思つた人もいたことだろう。むろんポンモノのあとでは、感銘も薄いに違いない。だが、飛ぶように売れる様子は、あたかも貴重な「文化のタネ」がばらまかれてるといった感じであった。おそらくそれを買って帰つた学生たちの勉

強部屋には、いまだその複製が飾られていることだろう。一枚の絵の「感動」を、いかに大切にするか、これが基本的な美術への対し方だと思う。たとえ素朴なものであつたにしろ、その感動を温めよう複製を買った学生がいたとしたら、金に飽かせてかき集めたポンモノを死滅している人にくらべ、はるかに芸術を感受しているといえるだろう。豊かな精神生活への足がかりがこのあたりにある。この二十日から松方コレクション展が白鶴美術館で開かれる。複製でつちかわれた絵画への関心が、この貴重な名画の数々の前で新たな開眼をもたらすことだろう

### 月刊「神戸っ子」案内

☆月刊「神戸っ子」を毎月御購読下さいます方、神戸を離れていいなります」と岡部先生も楽しみにしていらっしゃいます。(小泉)

☆お客様へのサービスとして「神戸っ子」がおかれています。6ヶ月分・500円(送料共)誌上紹介の各神戸の銘店には左記の本屋さんでどうぞ。

海文堂・元町3丁目  
漢口堂・京町筋  
日東館・大丸  
流泉書房・センターハー  
合田書店・大正筋商店街

月刊「神戸っ子」・発行/S 37, 10, 1・発行・編集/小泉康夫

編集室/神戸市葺合区御幸通8丁目9/1 国際会館1階・TEL 7037・定価70円

神山若森百宮松古福中直永田田庵堀白阪古後久小小木島川金大小岡岡牛櫻石吉委  
戸曾口杉勝輝地井川高西木井中村川崎川本林勝保林磯下納西井瀬根那崎尾並野木信  
年会泰了表書高虎方太達健美勝二喜米甚芳良正元ソ真伊真吉正成重正  
講所弘慈三進二男天美勝郎七郎介二郎源勝泰二郎夫平繁治英雄ム造子一朗一明惟夫  
も豈説いただいたい。発行に色々と

◆本店広告より広告主へ直接御注文やお問合せの際は、神戸っ子、広告による旨お書き添え下さい。

◆広告主の住所不明な時は、神戸っ子、編集室にお問合せ下さい。お取次いたします。

◆「神戸っ子」の広告掲載希望の場合は、神戸っ子、営業部宛御聞会下さい。◆神戸っ子、編集室

*Mikimoto Pearls*



ミキモトパールは  
優雅な宝石です  
お母様からお嬢様へ  
そしてまたお子様へ  
何代にもわたって  
愛される美しい輝き  
その価値は  
永遠にかわりありません



御木本真珠店

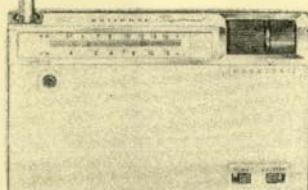
神戸店 三宮・神戸国際会館 Tel. (22) 62

大阪店 堂島・新大ビル Tel. (361) 0220

# 世界で絶賛をあびたパナソニック！

## パナソニック 1号

8石2バンド T-801D型  
正 価 11,900円  
月賦定価 12,500円



## パナソニック 2号

時計付 7石 T-98型  
正 価 10,500円  
月賦定価 11,000円



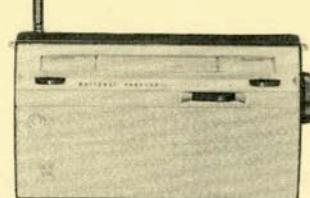
## パナソニック 3号

6石超小型 T-601型  
正 価 6,300円  
月賦定価 6,600円



## パナソニック 4号

8石2バンド T-802型  
正 価 12,800円  
月賦定価 13,400円



### ● 日本でも空前の人気

あらゆる国の最高級品が集まる世界最大の市場、アメリカで選びぬかれたトランジスタ・ラジオ「パナソニック」は日本でも、すでに「ナショナル・パナソニック」として発売・1号から4号まで新機種が登場するごとに、人気は高まる一方。アメリカにおとらない売れっ子ぶりを見せてています。

### ● 偶然には生まれなかった

音響製品を造って40年、世界的な電子技術と設備をもつナショナルでは、ここ数年、ラジオの年産200万台を越え、世界一の記録を保持しております。国際的な人気をかち得た「ナショナル・パナソニック」も、この力づよい総合技術に支えられて、完成されたのです。



世界のトランジスタラジオ

松下電器

ナショナル PANASONIC パナソニック